

——「ルールある経済社会」と「自主・自立の平和外交」を進める政治めざして——

「ご近所のみなさん、日本共産党です。」

通常国会は七月二十八日まで延期されましたが、衆議院議員は九月十日に任期満了を迎えます。いよいよ総選挙です。今日は、今度の選挙はどういう意義がある選挙なのか、日本共産党の見解と、政策の一端をお話したいと思います。ご協力をよろしくお願いします。

みなさん。

東京の日比谷公園で年越し「派遣村」が実施されて、早くも半年がたとうとしています。世界的な経済危機で、どこでも失業は大きな社会問題になっていますが、失業者が路頭に迷って、首都に「派遣村」ができるような国は、日本しかありません。

埼玉でも、ホンダや日産など、二十九社・七五二〇人が「非正規切り」にあっています。

日本共産党埼玉県委員会は、この間、緊急雇用対策委員会をつくって、労働組合や市民団体、弁護士さんや医者さんと協力して、各地で、労働や生活の相談活動・埼玉版「派遣村」にとりくんできました。「派遣切り」にあつて手持ちのお金もなくなった方の、家探しや、生活保護の申請などを、やってきました。「困った時は日本共産党」が、みんなの合い言葉になりました。

「ご近所のみなさん。」

日本には、人間らしく働くことができる「労働のルール」がないといってもよいのでは、ないでしょうか。大企業が、「偽装請け負い」や、契約期間中の解雇など、今ある最低限のルールさえ踏みにじるのは、大問題です。

どうやって国民生活を守り、日本経済をどういう方向に改革するのか、これが、今度の選挙の第一の争点では、ないでしょうか。

日本共産党は、塩川鉄也衆議院議員を先頭に、いすゞやホンダなど、大企業に直接是正を求め、労働局に是正指導を求めながら、労働者といっしょにたたかって、政治を動かしています。

今度の選挙で日本共産党は、第一に、こうした「働くルール」をはじめ、「負担は能力に応じて、給付は平等に」という社会保障本来の原則、「税金は負担能力に応じて」というルールなど、「ルールある経済社会」を目標に掲げます。また、そのために、「異常な財界・大企業中心政治」を転換することをめざして、全力を尽くします。

「ご近所のみなさん。」

もう一つ大事なのが、外交問題です。

アメリカのオバマ大統領は、世界で唯一核兵器を使った、道義的な責任に触れながら、「核のない世界」へ進む、宣言を行いました。

被爆国・日本の国民にとって、核兵器のない世界は、悲願中の悲願です。

日本共産党の志位和夫委員長は、大統領に、この演説への感動を伝え、演説実行に移すことを求める、手紙を送りました。アメリカ政府から日本共産党に、公式の返書が届いています。

みなさん。

「オバマ演説」をはじめとして、国際社会に重要な前向きの変化が生まれているとき、日本の外交は、「軍事同盟絶対」のままでよいのか、世界とアジアの平和のために、日本の外交はどのような進路を進むべきなのか、これは、今度の選挙の重大な争点では、ないでしょうか。

日本共産党は、憲法九条を生かした、「自主・自立の平和外交」をめざします。そのために、「異常な軍事同盟絶対」から抜け出して、対等・平等の日米関係を築くために、力を尽くします。

「ご近所のみなさん。」

自民党・公明党は、「選挙めあてのばらまき」をくり返して、海外派兵と軍備拡張、憲法「改正」など、軍事にばかり熱心です。民主党は、「政権交代」と「官僚支配打破」を言うばかりで、どういう日本をめざすのかが、いっこうに見えてきません。むしろ、民主党は、海外派兵恒久法の提案や、憲法九条「改正」、消費税増税などで、自民党と、悪政を競いあっています。

今度の選挙は、二十一世紀の日本の進路が問われる選挙です。比例代表選挙では、日本共産党をよろしく願います。ご協力、ありがとうございます。